

やる気を出せば

『3年前、第361地区のRACは、わずかに4クラブにすぎず、全国の地区別に調べてみても、この4クラブという数は、下位から3番目であり、RACに対する関心は、当地区としてはお世辞にも良いといえる状態ではなかった。ところがわずか1ヵ年足らずの間に15の新しいクラブが誕生して、今日では19クラブとなり、新旧共に手を取り合って一歩一歩前進を始めている。本文はその生み出すまでの経緯と川嶋直前ガバナーのRACの結成にかけた情熱の記録である。』

第361地区RAC諮問委員

丹羽好輝 (岐阜南)

1972年、東京のあるホテルの一室で全国のロータリー地区諮問委員長会議が開催されていた。当地区からは常磐井委員長が出席され、各地区よりRACに関する報告やら、問題が提起されていたが、会議全般を通してRACの結成強化についてどうするかが主題であった。当時この地区ではまだ3クラブしかなかったもので、まったく肩身のせまい思いをしたことを、後日委員長より聴かされた。岐阜市内には2つのクラブしかなく、時々交流して合同例会を開いていたが、その席上でいつも私が彼等から聴かされた言葉は、「仲間をもっと増やして欲しい」という要請であり、そして知り合いを深めてゆきたいという、願望めいた雰囲気があった。彼等の願いをそのまま放置すれば、孤立化する恐れもあり、私は何とかして早く彼等の希望をかなえてやりたい気持ち一杯であった。残念乍ら当時の環境ではそれもできず、私自身はがゆい思いの連続であった。青少年問題の重要性については、当地区の各RCは深い理解をもって、それぞれの分野で積極的な活動がなされていた。しかし、ことRACの問題になると、たてまえでは解っていても、いざ実行となると仲々踏み切れない状態であった。

1974年7月、川嶋ガバナーの登場である。就任直後のある日、私に呼び出しがあった。ガバナーは私の所属するクラブなので、名

誉でもあり、またガバナーの仕事に協力を惜しまない気持は始めから覚悟はしていたものの、いざ公式に指名がかかると、いささか緊張したことを覚えている。開ロ一番、静かに例の口調で、「私の任期中に当地区のRACを少なくとも20クラブまで増強したい、そのために私に協力せよ」大命降下というのか、事前に何も知らされていなかっただけに、20クラブという考えてもいなかった目標に私はまず驚かされた。またそれと同時にRACの結成という仕事が、単なる委員会を増やすといった簡単なものでないことを私はよく知っていたので、目標値の修正を引き下げられるよう進言したが、返事はきかれなかった。一度言い出したら、仲々引き込めないガバナーの性格を知っていたので、その場は引き下がったが、後になって、この大変な難事業を引き受けなければならなくなった自分というものと、もう一つは、クラブメンバーとして全面的に協力しなければならない、使命感みたいなものが交錯し複雑な気持ちであった。とにかく“ガバナーと共にやれるところまでやってみよう”、日が経つにつれてそんな気持ちに変わっていった。

さて、ガバナーの公式訪問が始まった。訪問先のクラブでどんな話をされたのか、また各RCの会長と、どんな約束をされたのか、私にはわからない、聞くところによれば、あるクラブではRAC結成について

Yes か、no か、かつての山下將軍ばりの場面もあったやにきいている。そして今では語り草のひとつになっている。スザましいまでの熱意と牽引力は、私も始めはそうでなかったのだが、知らず知らずのうちに、川嶋旋風に巻き込まれていった。

私に与えられた任務は、RACに対して熱意を示したRCに、その内容と結成までの経過について説明をすることであった。その後各地RCから卓話の依頼がくるようになった。

今、その当時のことを思い出すと、まったく汗顔の極みである。私が青少年問題の専門家でもなく、まったくの素人が、舞台へ無理やり上げさせられたようなもので30分間の卓話は、本当に無我夢中で取組んだ。よく我慢して聞いていただいたものと感謝しております。卓話のために今日は三重県に、翌日は北陸路へと、日程の重なったこともあった。

私達のクラブでは、川嶋ガバナーのことを別名、“機関車”とも言っている。この機関車は他の多くのクラブまで牽引した。RACにかける情熱は、始めは否定的だった多くのクラブの雰囲気次第に積極的な方向へ変えていった。私がスピーチのために出掛ける頃は、各クラブは困難に立ち向かう勇気と決意が感じられた。会長さん始め、委員会の皆さんは、決して強制された

ものでなく、新しい方向に進むべき準備が既になされていた。会長の一人は、これはわれわれがなし得る最大の投資であり、価値あるものである。少々の苦勞があるかも知れないが、やる気を出してやってみよう……。

わずか1ヵ年足らずの間に、15クラブが各地に結成できたことは、私自身も驚いている。

これで第361地区は旧4クラブを加えて19クラブになった。当初かかげた目標の20には到達できなかったが、みんながやる気を出して問題にぶつかって行けば、道は必ず開けて行くことを再確認したい。

現在当地区RACは、それぞれよき指導者のもとに成長を続けている。将来のリーダーとして自己を鍛え、人のために尽くす喜びを体験し、仲間としての友情を学び、青年らしい問題に熱心に取組んでいる。教育問題がいろいろ論議されている中で、我我ロータリーとまったく同じ倫理のもとに、青年達仲間が増えて行くことは素晴らしいことだと思う。ロータリー会員増強も仲々難しくなっている昨今、我々に代るべき、将来のエースを育成する価値ある仕事に、もっと熱意を燃やそうではないか。

熱き血潮を誠と愛にそそぎつくして悔いあるべきや、と共に進む各RACの活躍を祈ります。